

あか牛について学ぼう！（ルデー号の見学、阿蘇の畜産を学ぶ）

実施校：坂梨小学校（阿蘇市）4年生

※H22年度モデル校プログラムより

■実施概要

坂梨小学校の4年生は、草原に関する通年学習のなかで、特に阿蘇のあか牛について学習を進めました。

阿蘇の草原は、農畜産業に利用するため長年にわたって維持管理されてきた歴史を有しており、牛や馬の飼育とは切り離せない関係にあります。ここでは阿蘇地域を代表する牛の品種「あか牛」について、そのルーツやあか牛を含む阿蘇地域の畜産の推移、牛を増やすための最近の取り組みなどについて、地元高等学校の先生や行政関係者のお話をうかがいました。

■学習のねらい

- ・現在のあか牛がどのようにして生まれたのか、人々の努力やその取り組みについて知る。
- ・牛や馬の飼育がどのように変化したのか、その要因や背景を知る。
- ・あか牛の飼育を含む畜産の振興のために様々な取り組みが行われていることを知る。

■学習の流れ

①校外学習 -70分

阿蘇中央高校清峰校舎

**あか牛のルーツや飼育について学ぶ
ルデー号骨格標本見学**

11月12日（金）9:50～11:00

講師：山本孝博先生（阿蘇中央高校）

②教室内学習 -65分

阿蘇の畜産について学ぶ

11月12日（金）11:30～12:35

講師：飯星昭一氏（阿蘇地域振興局）

＜実施日＞平成22年11月12日（金）
 ＜実施時間＞9:20～12:35（4コマ）
 ＜参加者＞4年生（17名）、担任教諭
 ＜実施場所＞
 阿蘇中央高校清峰校舎、坂梨小学校
 ＜講師＞
 ①阿蘇中央高校 山本孝博先生
 ＊紙資料／「牛の種類」、「褐毛和種（肥後のあか牛）の誕生」等
 ②熊本県阿蘇地域振興局 農業普及・振興課 飯星昭一氏
 ＜準備するもの＞
 （学校）①,②ともに：ワークシート
 ②のみ：プロジェクター、コンピュータ、スクリーン、
 （子どもたち）①,②ともに
 クリップボード、筆記用具
 ＜コーディネーター＞
 環境省 阿蘇自然環境事務所

9:20 集合→今日の予定について説明
 9:30 坂梨小学校を出発（スクールバス1台）
 ＊バス内でクイズを実施
 9:50 阿蘇中央高校清峰校舎にて
 ・校長先生あいさつ
 ・山本先生のお話（45分）
 ＊子どもたちからの質問
 ・ルデー号骨格標本の見学（10分）
 11:00頃 阿蘇中央高校清峰校舎出発
 11:20 坂梨小学校着
 ＊トイレ休憩（10分）
 11:30 坂梨小学校教室
 ・飯星さんのお話（45分）
 ＊子どもたちからの質問
 12:35 終了

■実施の様子

～阿蘇中央高校清峰校舎にて～

◇あか牛についてのお話

- ・山本先生には、ご自身の草原や牛との関わりや高校生による飼育学習のことを交えながら、牛の種類、阿蘇のあか牛誕生の歴史、牛の飼育や経済的な側面などについてお話いただきました。
- ・子どもたちから、「昔の牛はあか牛も黒牛も小さかったのか」、「なぜ外国種はでかいのか」、「牛と馬ではどっちが成長が早いか」といった質問が出されました。



◇ルデー号の骨格標本の見学

- ・子どもたちは、ルデー号の骨格標本を見て、その大きさを実感。体格の大きい子が標本の前に立って背比べするなど興味津々でした。



～坂梨小学校の教室にて～

◇阿蘇の畜産について

- ・飯星氏は、牛の特徴、飼育農家や頭数に関する過去から現在のデータなどについて、パワーポイントを使って説明。
- ・「あか牛は急な斜面で転んだりするのか」、「血液型はあるのか」、「他の動物に襲われたりしないのか」といった質問がありました。



■成果など

- ・清峰校舎へ向かうバスの中で行った牛に関するクイズは、講師の方々のお話を聞く前にあか牛への興味を高めるために効果的だった。
- ・清峰校舎では、ルデー号の骨格標本はインパクトがあったが、今回は口蹄疫の関係で清峰校舎の畜舎見学ができなかったのが残念だった。
- ・山本氏による子牛の生まれる日の計算方法や、飯星氏の学習で昔使っていた牛の鞍や鍬を見せてもらったことは、子どもたちの興味を引きつけるのに効果的で、草原と人々のくらしやかつての牛の使われ方などへも関心を広げることができた。
- ・一方で、全体の学習に占めるお話の時間が長すぎて、子どもたちが消化しきれなかったのではないかと感じた。座学だけでなく、体験的な内容が組み合わさっているとさらに効果的だった。

留意点

- ・講義は専門用語が多くなって難しくなりがちです。内容をあまり難しくせず、学習のポイントを明確にして講師の方々と調整した上で実施することが大事です。